

# 認知症本人大使 「ながさきけん希望大使」の 取組について

認知症希望大使フォーラム in 九州・沖縄

日時：R5.11.30(木)14:00～16:00

場所：ZOOMオンライン限定開催

# 認知症本人大使「ながさきけん希望大使」

## 1. 概要

- 国の認知症施策推進大綱（R元.6.18）において、認知症の人が、できる限り地域で自分らしく暮らし続ける社会を実現するためには、認知症への社会の理解を深め、認知症の有無に関わらず、同じ社会の一員として地域をともに創ることが必要との考え方のもと、「認知症本人大使」を創設し、認知症の人本人による普及活動を支援していくことが提唱された。
- 県は、認知症本人の方を「ながさきけん希望大使」として任命し、認知症の人本人からの発信の機会を増やすとともに、大使と一緒に認知症への社会の理解を深めるための普及啓発を推進。
- 関係機関・団体からの推薦により、R3年度から希望大使の委嘱を開始し、現在4名が活躍中。任期は2年間。

## 2. 大使名称

認知症本人大使「ながさきけん希望大使」

（理由）

- ・ 認知症に対する印象を柔らかくし、受入れやすい名称にするため、ひらがなを含んだ表記とする。
- ・ 国が使用している「希望大使」が浸透してきていることもあり、「希望」を含んだ表記とする。
- ・ 16都道府県55名の「希望大使」が活躍。（R5.3月時点）

## 3. 活動内容

本人が希望や体調にあわせて、以下から活動内容を選択

- (1) 県が行う認知症の研修や普及啓発活動への参加・協力
- (2) 認知症サポーター養成講座の講師であるキャラバン・メイトへの協力
- (3) その他都道府県が必要と認めた用務  
※県依頼の活動には、県から報酬・旅費を支給。  
※その他、個別に市町・団体等による研修等での活動に参加している方もおられる。

認知症本人大使「ながさきけん希望大使」の略歴

氏名	居住地	略歴
(みぞかみ ふみのり) 溝上 文徳 さん	長崎市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1963年生まれ。</li> <li>・ 2021年の8月末まで長年建設業を自営。</li> <li>・ 2019年3月、54歳で前頭側頭型認知症と診断される。</li> <li>・ 県の若年性認知症の集いに参加し、一昨年には長崎文化放送の取材を受け、ドキュメンタリー番組にも出演。</li> </ul>
(えはま まさし) 江濱 真司 さん	長崎市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1967年生まれ。</li> <li>・ 長崎市内で勤務。</li> <li>・ 2019年頃に若年性認知症と診断される。</li> <li>・ 県の若年性認知症の集いに参加。</li> <li>・ 職場が協力的で、ジョブコーチ支援も取り入れるなどしながら就労継続中。</li> </ul>
(かないだ まさあき) 金井田 正秋 さん	松浦市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1955年生まれ。</li> <li>・ 2009年54歳の時に若年性アルツハイマー型認知症と診断される。</li> <li>・ 若年性認知症を周囲に公表し、地域の研修会や家族の会の集い等に積極的に参加され、自身の体験を発表している。</li> </ul>
(たなか ゆたか) 田中 豊 さん	長崎市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1969年生まれ。</li> <li>・ 50歳頃に若年性アルツハイマー型認知症と診断される。</li> <li>・ 長崎市の研修会や家族の会の交流会で講話をしている。</li> </ul>

# 認知症本人大使「ながさきけん希望大使」活動事例

## 令和4年度 長崎県認知症普及啓発セミナー

2023/1/15 (日)

13:00～16:00 (開場：12:30～)

長崎市立図書館  
多目的ホール

〒850-0032 長崎市興善町1-1

認知症は身近な病気です。  
先進地や県内の取組、認知症ご本人の体験談を伺いながら、「認知症の人や家族が住みやすいやさしいまちづくり」をテーマにしたセミナーを開催します。多数のご参加をお待ちしております。

### セミナー内容

●講演「認知症とともに生きる～共生社会と社会参加～」  
講師：NPO 法人町田市つながりの開 代表理事 前田隆行 氏 (リモート出演)

●意見交換会「認知症の人と家族が住みやすいまちづくり」  
ながさきけん希望大使と支援者の方々と意見交換  
司会：社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院 井手芳彦 氏

●県内取組紹介  
認知症の人と家族の会、地域包括支援センター、認知症サポートセンターの紹介

### 講師紹介

NPO 法人町田市つながりの開 代表理事 前田隆行 氏

1976年、神奈川県生まれ。University of Canterbury 卒。精神保健福祉士。老年精神科ソーシャルワーカー、在宅介護支援センター、第三セクターのE型デイサービス等を経て、通所介護事業所 DAYSBLG! を立ち上げる。認知症当事者の社会参加等を通じて、当事者の居場所づくりや、認知症とともに生きる社会づくりに取り組んでいる。

参加無料

定員 100名

【申込フォームQRコード】



## 第7回

# 長崎県若年性認知症フォーラム

<世界アルツハイマーデー記念講演会>

参加費  
無料



定員  
参集 100名  
リモート 200名  
事前申込(表面参照)

日時

令和5年9月9日(土)

13:30～16:30

(受付 13:00～)

会場

長崎県庁1階 大会議室 (長崎市尾上町3番1号)

\*県庁駐車場は有料となります。公共交通機関をご利用ください。

プログラム

13:30～ 開会 あいさつ 長崎県福祉保健部長寿社会課長 中村 直輝  
認知症の人と家族の会長崎県支部代表 神原 千代子

13:45～ 講演 『認知症と共に よりよく生きる』  
15:00 講師 内田 直樹 先生 (医療法人すずらん会 たろうクリニック院長)  
(質疑応答含む)

15:00～15:10 休憩

15:10～ 16:25 認知症本人大使「ながさきけん希望大使」“自由トーク”  
『私らしく よりよく生きるために 思いを語り合おう!!』

登壇者 金井田 正秋 氏・福田 人志 氏・田中 豊 氏  
溝上 文徳 氏・江濱 真司 氏

司会者 深堀 優 世話人  
コーディネーター 宮本 峻光 顧問  
アドバイザー 内田 直樹 先生

16:25～ 16:30 閉会 あいさつ 認知症の人と家族の会 長崎県支部副代表 城臺 洋子

参加申込

会場参加の方：表面の申込書によりFAX申込  
リモート参加の方：右のQRコードから申込

リモート参加  
申込専用  
QRコード



お問合せ

認知症の人と家族の会長崎県支部事務局(火・金のみ)10:00～16:00 095-842-3590  
認知症の人と家族の会長崎県支部世話人 若年性認知症担当：太田 090-5022-4799  
世話人代表：神原 090-2502-9829

主催



公益社団法人認知症の人と家族の会 長崎県支部

# 認知症本人大使「ながさきけん希望大使」活動事例



ながさきけん希望大使 田中 豊 さん

## 【会合内容】

- 1 会の名称 **G7保健大臣会合開催記念認知症シンポジウム**
- 2 主催 厚生労働省
- 3 開催日時 令和5年5月14日(日) 8:30~10:30
- 4 会場 出島メッセ長崎 (長崎市尾上町4-1)
- 5 参加者 認知症当事者、政府関係者、研究者等
- 6 当日プログラム
  - 開会あいさつ(厚生労働省)
  - 各国大臣あいさつ(未定)
  - **当事者スピーチ**
    - ・ JDWG(認知症本人ワーキンググループ): 全国団体
    - ・ 認知症の人と家族の会: 全国団体
    - ・ **長崎県認知症本人大使「ながさきけん希望大使」**
  - パネルディスカッション

## 【スピーチ概要】

- 「子供達の将来の事を考えたら落ち込んでばかりいても仕方がない。今自分が出来る事を探していくしかない」と、何事もポジティブに考えようと決め、1年半近く経った時に病気のことを受け入れる事ができるようになりました。
- 認知症は昔の痴呆症というイメージが強いので、**差別的な目で見られないか、打ち明けるのに不安はありましたが**、「知ってもらっていた方が周りも接しやすいのではないかと、思い私や家族に関わる人には伝えていきます。伝えたことで、家族や自治会、勤め先の職場も理解してくれるようになりました。
- 今認知症を発症し苦しんでいる方、これから認知症を発症する方の希望としてこれからも地元長崎の希望大使としての活動を続けたい。

# 認知症本人大使「ながさききけん希望大使」活動事例



# 認知症本人大使「ながさきけん希望大使」活動事例



## 交流会の様子

(ながさきけん希望大使 江濱 真司 さん  
活動支援者(母親) 江濱 カズ子 さん  
エーザイ社員の方々)

### 【会合内容】

- 1 会の名称  
ながさきけん希望大使とエーザイ社員との交流会
- 2 開催日時  
令和5年9月5日(火) 10:00~11:00
- 3 会場  
エーザイ長崎コミュニケーションオフィス
- 4 参加者  
江濱真司さん(希望大使)、江濱カズ子さん(支援者・母)、エーザイ社員の方々 約50名(web参加者含む。)
- 5 当日プログラム
  - ながさきけん希望大使の取組紹介(長崎県)
  - 希望大使 講演(江濱真司さん)
  - 希望大使とエーザイ社員のディスカッション

### 【講演概要】

- 仕事で思い出せないこと、間違いが多くなり、上司から受診を勧められた。認知症の診断を受けたときは目の前が真っ暗になった。
- 職場ではジョブコーチ支援を受けるなど、上司の人たちがものすごく気を配ってくれたおかげで、診断のショックから立ち直ることが出来た。
- 職場の人や家族に助けられ感謝している。自分も何か人の役に立てることがあれば。

### 【参加者の主な感想】

- 職場、家族など周りの方々からのサポートが非常に厚くて驚いた。
- 何かの役に立ちたいという気持ちは、我々と何ら変わりがない。そのようなお気持ちで色々なことに前向きに取り組まれていることに感銘を受けた。